学校番号	３０８

平成３１年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「新版精選古典Ｂ」（東京書籍）						
副教材等	プレミアムカラー国語便覧（数研出版）　体系古典文法八訂版（数研出版） 体系古典文法学習ノート改訂版（数研出版）　新版理解を深める核心古文単語 351（尚文出版） 漢文学習必携三定版（京都書房）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・漢文も含め、我が国の古典文学に対する関心を持ち、時代を経ても変わらないもの（文学の主題）時代や国の違いによって変わっていくもの（文法、句法や語句、時代背景）を理解しながら、古典の世界に親しみましょう。有名な作品の冒頭文や有名な詩歌は覚えていきましょう。
・古典文法（用言、助動詞、助詞、係り結び、敬語）を理解し、古語を豊かにすることによって、作品世界を理解し、古文を的確に読み取れるようになりましょう。古文では、省略されている助詞や主語、目的語などを補いながら、敬語等に注意して、主語の変化に気を付け、文脈を正確に読み取れるようになりましょう。そして登場人物の気持ちが理解できるようになりましょう。
・漢文では、覚えるべき文字（再読文字、返読文字、置き字、漢文特有の語句など）や書き下し文のきまりをしっかり覚え、句法を覚えていきましょう。
・予習として、必ず本文を音読してきましょう。そのうえで、古文では、品詞分解、わからない古語の辞書での確認をして授業を受けましょう。漢文では、書き下し文を自分で作り、わからない語句を漢和辞典で調べて授業を受けましょう。授業の後には、自分のノートで訳を確認し、覚えるべき語句や文法、句法を復習しておきましょう。
・提出物の期限は守りましょう。あとから復習しやすいように、自分の力で授業中にノートを完成させていきましょう。定期考査は、学習計画を立てて、自分のノートでしっかり学習して臨んで下さい。授業中の小テストも、準備をしっかりして受けるようにしましょう。

2　学習の到達目標

・有名な作品の冒頭文や、有名な詩歌のフレーズや故事成語などは覚えて、「教養」として身についている。
・自分の人生をさらに豊かにするものとして、抵抗なく古文や漢文に親しむ姿勢がみられる。
・古文では、自力で品詞分解ができ、古語辞書を使って口語訳がだいたいできる。
・漢文では、自力で書き下し文ができ、漢和辞典を使っておおよその訳ができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解
観点の趣旨	言語文化や時代背景、歴史や伝統に対する関心を深め、国語を尊重して古典作品に親しもうとする。	古典作品に表れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにし深めている。	古典作品を読解するのに必要な仮名遣いなどの表記、文法、語句、語彙、古典常識、漢字、句法などの知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察（授業中の発言等） ・提出物の点検（ノート、ワークシート等）	・提出物の点検及び分析（ノート、ワークシート等） ・定期考査	・行動の観察（授業中の発言等） ・提出物の点検（ノート、ワークシート等） ・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期中間	説話・物語	「能は歌詠み」 (『古今著聞集』) 「姨捨」(『十訓抄』)	○	○	○	a:物語に描かれている人物の心情を表現に即して読み、読み深めようとしている。 b: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、読み深めている。 c:文学史的な知識及び重要古語の意味を理解している。また用言の活用を理解し、付属語の分類ができる。	a:行動の観察及び提出物の点検 b:行動の観察及び提出物の点検 c:小テスト及び定期考査
1学期期末	小話・随筆	「完璧而帰」(『十八史略』) 「中納言参り給ひて」 「宮に初めて参りたるころ」 (『枕草子』)	○	○	○	a:訓点に従って漢文を正確に読んでいる。随筆に描かれている常識や美意識を理解でき、話の展開に即して読んでいる。 b: 小話・随筆に描かれている内容から、独特の感性を味わい、読解を深めている。 c: 漢文特有の句法を理解している。故事成語の意味を理解している。助動詞の意味、用法を理解している。敬語について理解している。	a:行動の観察及び提出物の点検 b:行動の観察及び提出物の点検 c:小テスト及び定期考査
2学期中間	随筆・史伝	「安元の大火」(『方丈記』) 「花は盛りに」(『徒然草』) 「項羽」(『史記』)	○	○	○	a:作者の感性や出来事を表現に即して読み、理解しようとしている。文章の展開や論点を理解している。 b:作者の感性や出来事を表現に即して読み、理解している。漢文特有の句法を理解し、口語訳できる。 c:日本の代表的随筆の位置づけを理解し、助動詞・助詞を理解している。中国古代の様相を理解している。	a:行動の観察及び提出物の点検 b:行動の観察及び提出物の点検 c:小テスト及び定期考査

2学期期末	日記・物語・思想	「門出」(『更級日記』) 「なげきつつひとり寝る夜」 (『蜻蛉日記』) 「道長、伊周の競射」 (『大鏡』) 「性之善也、猶水之就下」 (『孟子』)	○	○	○	a: 文章に描かれている作者や人物の心情及びあらすじの展開を表現に即して読み深めようとしている。 b: 文章に描かれている作者や人物の心情及びあらすじの展開を表現に即して読み、読み深めている。 c:作品の文学史的な知識。中国古代の思想を理解している。	a:行動の観察及び提出物の点検 b:行動の観察及び提出物の点検 c:小テスト及び定期考査
学年末	物語・近世の文章・文	「若紫」(『源氏物語』) 「小判は寝姿の夢」 (『世間胸算用』) 「漁父辞」	○	○	○	a: 文章に描かれている人物の心情及びあらすじの展開を表現に即して読み、読み深めようとしている。 b: 文章に描かれている人物の心情及びあらすじの展開を表現に即して読み、読み深めている。 c: 作品の文学史的な知識。まぎらわしい語の識別ができる。	a:行動の観察及び提出物の点検 b:行動の観察及び提出物の点検 c:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:読む能力　　c:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。